(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3143650号
(U3143650)
(45)発行日　平成20年7月31日(2008.7.31)　(24)登録日　平成20年7月9日(2008.7.9)

(51)Int.Cl.　　F I
G09F 21/04 (2006.01)　　G09F 21/04　Z
G09F 13/04 (2006.01)　　G09F 13/04　Z

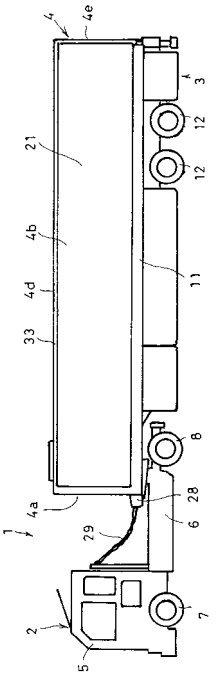
評価書の請求 未請求　請求項の数 2　ＯＬ　（全 7 頁）

(21)出願番号　実願2008-3256(U2008-3256)
(22)出願日　平成20年5月20日(2008.5.20)
出願変更の表示　特願2008-57897(P2008-57897)の変更
原出願日　平成18年11月28日(2006.11.28)

(73)実用新案権者　506396788
手　塚　運　輸　株　式　会　社
埼玉県川口市栄町２－１２－９
(74)代理人　110000051
特許業務法人共生国際特許事務所
(72)考案者　手　塚　　嘉　明
東京都文京区小石川１－１７－１　Ｂ－３０５

(54)【考案の名称】移動広告装置

(57)【要約】　（修正有）
【課題】高い場所に対する宣伝効果を有し、宣伝での使用をしないときに一般的な運搬に用いることが可能で無駄のない移動広告装置を提供する。
【解決手段】トラクター２に対して相対的に旋回可能な状態でトラクター２に牽引されるトレーラー３と、前面、左右の側面、上面及び後面の各面の略全面を覆う透光性パネル２１が設けられ、トレーラー３の荷台に着脱自在に搭載される広告ボックス４と、広告ボックス４の内部に設けられた複数の照明手段と、透光性パネルの表面にラッピングされる広告宣伝を行うための広告シートと、照明手段に電力を供給する発電機と、発電機からの電力を複数の照明手段に分配するコントロール盤と、を備えている。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
トラクターに対して相対的に旋回可能な状態でトラクターに牽引されるトレーラーと、
前面、左右の側面、上面及び後面の各面の略全面を覆う透光性パネルが設けられ、前記トレーラーの荷台に着脱自在に搭載される広告ボックスと、
前記広告ボックスの内部に設けられた複数の照明手段と、
前記透光性パネルの表面にラッピングされる広告宣伝を行うための広告シートと、
前記照明手段に電力を供給する発電機と、
前記発電機からの電力を前記複数の照明手段に分配するコントロール盤と、を備えていることを特徴とする移動広告装置。
【請求項２】
前記コントロール盤は、前記トラクターからの制御が可能となっていることを特徴とする請求項１に記載の移動広告装置。

【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、道路を走行しながら広告を行う移動広告装置に関する。
【背景技術】
【０００２】
移動広告装置として、トラックを広告専用車として用いることが従来よりなされている。トラックの荷台に広告内容を表示したパネルを取り付けるものであり、パネル自体又は荷台上に配置した照明具によって照明を行いながら、又、スピーカから音声を出しながら道路を走行して広告宣伝を行っている。
【特許文献１】特開２００２－２９３２６号公報
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００３】
トラックを広告専用車とした場合には、道路上にいる人たちへの広告宣伝が可能であるが、ビルディング等の高い場所にいる人への宣伝効果が小さい欠点がある。又、パネルは広告専用となっており、宣伝を行わないときにはトラックを使用できないという無駄がある。
【０００４】
本考案はこのような従来の問題点を考慮してなされたものであり、高い場所に対する宣伝効果を有し、しかも宣伝を行わないときに一般的な運搬に用いることが可能で無駄のない移動広告装置を提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
請求項１記載の考案の移動広告装置は、トラクターに対して相対的に旋回可能な状態でトラクターに牽引されるトレーラーと、前面、左右の側面、上面及び後面の各面の略全面を覆う透光性パネルが設けられ、前記トレーラーの荷台に着脱自在に搭載される広告ボックスと、前記広告ボックスの内部に設けられた複数の照明手段と、前記透光性パネルの表面にラッピングされる広告宣伝を行うための広告シートと、前記照明手段に電力を供給する発電機と、前記発電機からの電力を前記複数の照明手段に分配するコントロール盤と、を備えていることを特徴とする。
【０００６】
請求項２記載の考案は、請求項１記載の移動広告装置であって、前記コントロール盤は、前記トラクターからの制御が可能となっていることを特徴とする。
【考案の効果】
【０００７】

本考案によれば、広告ボックスの前面、側面、上面及び後面に設けられた透光性パネルを広告シートによってラッピングし、広告ボックス内部から照明することにより広告シートが明るくなって広告宣伝を行う。透光性パネルが広告ボックスの上面に設けられることによりビルディング等の高い場所にいる人たちへの宣伝が可能となる。又、広告ボックスの前面にも透光性パネルが設けられることにより、走行道路での右折、左折等の方向転換する際に広告ボックスの前面がトラクターの影から露出するため、宣伝効果が増大する。

【０００８】

本考案は、広告ボックスがトレーラーに着脱自在となっており、しかもトレーラーがトラクターに対して切り離し可能となっているため、宣伝を行わないときには、広告ボックスをトレーラーから下ろし、トレーラーに荷物を搭載して運搬したり、トレーラーをトラクターから切り離し、荷物運搬用のトレーラーをトラクターに連結して運搬できる。このため、無駄のない使用が可能となる。

【考案を実施するための最良の形態】

【０００９】

以下、本考案を図示する実施形態により具体的に説明する。

【実施例】

【００１０】

図１～図６は、本考案の一実施形態の移動広告装置を示し、図１及び図２は全体の側面図及び平面図、図３、図４及び図５はトレーラーの正面図、側面図及び背面図、図６はトレーラーの内部の側面図である。

【００１１】

移動広告装置１は図１及び図２に示すように、トラクター２と、トレーラー３と、広告ボックス４とを備えている。

【００１２】

トラクター２は、シャーシ６の前方部分に運転台５が設けられている。シャーシ６には複数の車輪７、８が取り付けられている。車輪７はエンジンに連結されており、運転台５内でオペレータが運転操作を行うことにより回転する。これにより、トラクター２は自力で走行できる。

【００１３】

トレーラー３は、トラクター２に牽引されることによりトラクター２と共に走行する。走行のため、トレーラー３の荷台１１には複数の車輪１２が回転可能に取り付けられている。

【００１４】

図３～図５に示すように、荷台１１の前方部分にはキングピン１３が垂下している。キングピン１３は、トレーラー３をトラクター２に連結する連結手段として機能するものであり、トラクター２のシャーシ６に形成されたカプラ孔（図示省略）に挿入されて上記連結を行う。キングピン１３を介して連結されることにより、トレーラー３及びトラクター２は図２に示すように相対的な旋回が可能となっている。また、キングピン１３をカプラ孔から外すことにより、トレーラー３がトラクター２から切り離される。

【００１５】

トレーラー３の荷台１１の下部には、固定用アンカー１５が取り付けられている。固定用アンカー１５は、荷台１１の前方部分に垂下した油圧等のシリンダ１５ａを備えている。そして、シリンダ１５ａが伸張すると、固定用アンカー１５の下面が地面に当接する。この当接及び車輪１２によって荷台１１が水平状態を保つことができ、安定する。また、固定用アンカー１５が地面に当接することにより、トレーラー３が地面上の定位置で停止状態となり、動くことがない。従って、トレーラー３をイベント会場等の任意の場所に停止させたままとすることができる。

【００１６】

トレーラー３の荷台１１には、後述する照明手段への電力供給を行う発電機１６が取り付けられている。図３及び図５において、符号１７は発電機１６等が取り付けられる荷台

１１の下部の左右側面を覆って隠蔽するサイドパネルである。

【００１７】

広告ボックス４は図３～図５に示すように、横長矩形の立体箱形状に形成されている。広告ボックス４はトレーラー３の荷台１１上に搭載されるものであり、広告ボックス４の搭載を行うため荷台１１の上面は平坦面となっている。広告ボックス４は荷台１１の全面と略同等の大きさとなっているが、その大きさは適宜変更することができる。

【００１８】

広告ボックス４は、前面４ａ、左右の側面４ｂ、４ｃ、上面４ｄ及び後面４ｅが透光性パネル２１により覆われている。すなわち、広告ボックス４は底面を除く全ての面が透光性パネル２１により覆われるものである。透光性パネル２１は各面４ａ、４ｂ、４ｃ、４ｄ、４ｅの略全面を覆うように各面４ａ、４ｂ、４ｃ、４ｄ、４ｅの大きさに合わせて形成されている。なお、各面４ａ、４ｂ、４ｃ、４ｄ、４ｅの透光性パネル２１は、横長矩形に組み付けられた骨格フレーム３３に嵌められてビス等により固定されることにより各面４ａ、４ｂ、４ｃ、４ｄ、４ｅを覆うものである。

【００１９】

この実施形態において、骨格フレーム３３はトレーラー３の荷台１１に搭載された後、その底面の四隅部分をボルト止めすることにより、広告ボックス４が荷台１１に固定される。このような四隅部分へのボルト止めにより固定される構造では、簡単に固定することができる。従って、トレーラー３への広告ボックス４の装着及び取り外しの作業性が向上する。広告ボックス４としては、海上運搬に用いるコンテナを改造して使用することができ、これにより廃コンテナの再利用に役立てることができる。なお、海上運搬用のコンテナ以外のコンテナを用いても良く、移動広告装置１専用の広告ボックス４を製造しても良い。

【００２０】

透光性パネル２１は、その表面が広告シート（図示省略）によってラッピングされる。広告シートには、広告宣伝を行うためのコンテンツ、キャラクター、文字等が印刷されている。従って、広告シートを透光性パネル２１にラッピングすることにより、広告ボックス４が広告宣伝機能を備えるようになる。なお、広告シートのラッピングではなく、広告内容を透光性パネル２１に直接に描いても良く、印刷しても良い。透光性パネル２１は、透明あるいは半透明の樹脂板によって形成されており、従って、光の透過が可能となっている。

【００２１】

広告ボックス４は内部が空洞となっており、図６に示すように、内部には照明手段としての複数の蛍光灯２３が配置される。蛍光灯２３は、広告ボックス４内に設けられた保持フレーム２４に取り付けられることにより広告ボックス４の内部に配置される。保持フレーム２４は広告ボックス４よりも幾分小さな横長矩形となるように組み立てられており、広告ボックス４内に配置した後、ボルト等により固定される。

【００２２】

蛍光灯２３は保持フレーム２４に対して秩序のある配列を行うことにより、広告ボックス４の内部で均等に配置されるものである。従って、全ての蛍光灯２３が発光することにより、むらのない明るさで広告ボックス４の全体が均一に照明される。蛍光灯２３が発光することにより、各面４ａ、４ｂ、４ｃ、４ｄ、４ｅを覆う透光性パネル２１が光るため、透光性パネル２１の表面に施された広告が光り、その宣伝を行う。又、広告が光ることにより、夜間において目立つことができ、その宣伝効果が大きくなる。

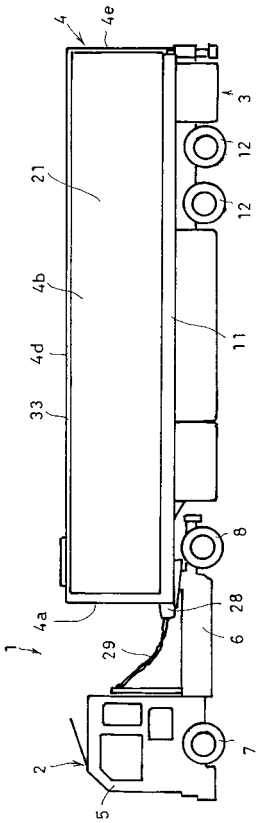
【００２３】

図６において、符号２５は、広告ボックス４内の前後位置に配置されたスピーカであり、音楽、音声等によって宣伝を行う。図６に示すように、広告ボックス４内には、コントロール盤２７が設けられている。コントロール盤２７は発電機１６に接続されると共に、それぞれの蛍光灯２３やスピーカ２５と配線されており、発電機１６からの電力を全ての蛍光灯２３及びスピーカ２５に分配供給する。

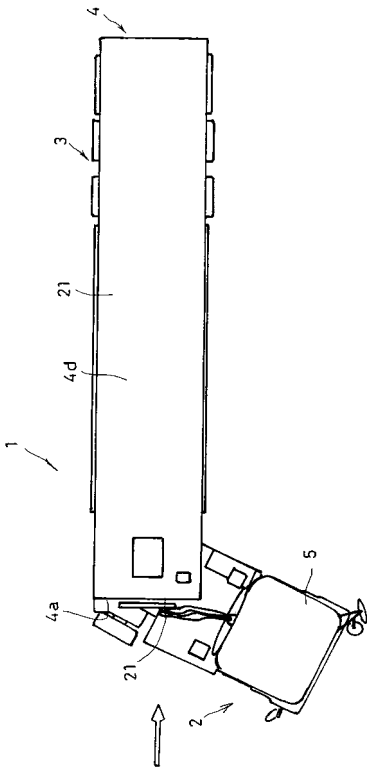
【００２４】
この実施形態において、広告ボックス４の外部前面部分には、コネクタ２８が設けられており、コントロール盤２７がコネクタ２８に接続されている。コネクタ２８は図１及び図２に示すように、コード線２９を介してトラクター２に接続されている。従って、トラクター２の運転台５から操作することにより、蛍光灯２３の発光やスピーカ２５の鳴動を制御することができ、制御性が向上する。
【００２５】
以上の移動広告装置１は、広告ボックス４の前面４ａ、側面４ｂ、４ｃ、上面４ｄ、後面４ｅに設けられた透光性パネル２１を広告シートによってラッピングし、蛍光灯２３を発光させて広告ボックス４内部から照明することにより広告シートが明るくなって広告宣伝を行う。
【００２６】
この移動広告装置１では、透光性パネル２１が広告ボックス４の上面４ｄに設けられている。このことによりビルディング等の高い場所にいる人たちも広告ボックス４の上面４ｄを見ることにより広告内容を確認できる。これにより、広告宣伝効果が大きくなる。
【００２７】
又、透光性パネル２１は広告ボックス４の前面４ａにも設けられている。前面４ａにも透光性パネル２１を設けることにより、トラクター２が右折、左折等の方向転換するときは図２に示すように、広告ボックス４の前面４ａがトラクター２の影から突然に露出し、露出した前面４ａの広告を見ることができる。このような挙動は、特異的であり、交差点にいる人が印象深く広告を見るようになり、宣伝効果が増大する。
【００２８】
さらに、広告ボックス４はトレーラー３に着脱自在となっているため、宣伝を行わないときは、広告ボックス４をトレーラー３から下ろして、その荷台１１に荷物用コンテナ等を搭載して荷物を運搬することができる。又、トレーラー３がトラクター２に対して切り離し可能となっているため、宣伝を行わないときには、トレーラー３をトラクター２から切り離し、荷物運搬用のトレーラーをトラクター２に連結して荷物運搬を行うことができる。以上により、トレーラー３やトラクター２の無駄のない使用が可能となる。
【００２９】
本考案は、以上の実施形態に限定されることがなく種々変更が可能である。例えば、広告ボックス４は前面４ａ、側面４ｂ、４ｃ、上面４ｄ、後面４ｅを有している形状であれば矩形状以外の他の形状、例えば、立体五角形や立体六角形であっても良い。又、広告ボックス４は内部が空洞となっていることから、その内部に荷物を入れても良い。そして、広告ボックス４内に荷物を入れた状態で透光性パネル２１を光らせながら走行することにより荷物の運搬及び広告宣伝の双方を同時に行うことができる。さらに、照明手段としては、白色ダイオード、ＬＥＤ、ＣＣＦＬ、白色電球等の蛍光灯２３以外のものを使用することができる。
【産業上の利用可能性】
【００３０】
本考案は、道路を走行しながら広告を行う移動広告装置に好適である。
【図面の簡単な説明】
【００３１】
【図１】本考案の一実施形態の移動広告装置を示す全体側面図である。
【図２】移動広告装置の全体平面図である。
【図３】トレーラーの正面図である。
【図４】トレーラーの側面図である。
【図５】トレーラーの背面図である。
【図６】トレーラーの内部を示す側面図である。
【符号の説明】
【００３２】

１　移動広告装置
２　トラクター
３　トレーラー
４　広告ボックス
４ａ　前面
４ｂ、４ｃ　側面
４ｄ　上面
４ｅ　後面
１１　荷台
１３　キングピン
１５　固定用アンカー
１６　発電機
２１　透光性パネル
２３　蛍光灯
２７　コントロール盤

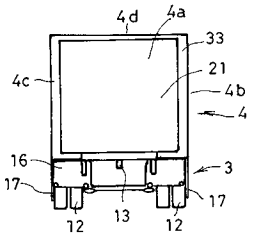
【図１】



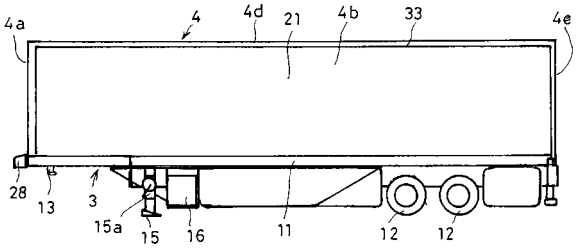
【図２】



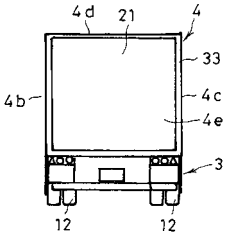
【図３】


4d
4a
33
21
4c
4b
4
16
3
17
17
12
13
12

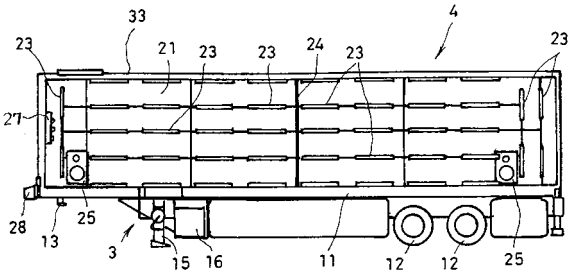
【図４】


4a
4
4d
21
4b
33
4e
28
13
3
15a
15
16
11
12
12

【図５】


4d
21
4
33
4b
4c
4e
3
12
12

【図６】


33
4
23
23
21
23
23
24
23
23
27
28
13
25
3
15
16
11
12
12
25